

## 学習日誌

3月 22日(金)	講 師	座間市文化財調査員 古川 修先生
出席者数	47名	記録者 東地区文化センター 柳澤 粧容子
講 座 名	郷土学習4「東海古道とほしのや城について」フィールドワーク	
プログラム担当者	郷土学習講座グループ、東地区文化センター	
時 間・場 所	13:00 ~ 15:00	下記コースにて

【コース】座間駅西口出発～諏訪神社～星の谷観音坂下～護王姫神社～三年坂

～石造物～谷戸山公園（里山体験館にてトイレ休憩）～三峰坂下

～三峰神社と参道～南入口公園～中丸～座間駅東口にて解散

### 【学習内容】

昨年11月に雨天中止になってしまったフィールドワークを実施しました。座間駅西口を出発して、最初のポイント・諏訪神社で鎌倉街道の説明を伺いました。切り立った崖の上の道を進み、星の谷観音坂下では、この坂は典型的な切通しで両側絶壁の下には川が流れていて、昔は女性ひとりで歩いてはいけないといわれていたなどの説明を聞きました。

護王姫神社では道路の幅や状況からみて境内が駅路そのものと考えられることや大櫻は2本が合体していることなど、興味深い話に聞き入りました。三年坂の前で地層の話や『この坂で転ぶと三年後に死ぬ』と伝えられてきたことの真意などの話がありました。稲荷神社は小さいけれど何だか不思議な存在感を感じました。坂を上り切った辺りでは（このポイントを含め数か所で）座間市が遺跡保存に対しての認識が甘く、発掘の価値があるはずの場所を発掘することなく建物を建ててしまったという話をされていました。

小田急線の下をくぐり、次は石造物の説明を聞き、里山体験館でトイレ休憩。集合写真を撮って向かった先は三峰坂でした。豎堀と考えられる、この坂道は湿っていて足場が悪く、下を向いて一生懸命に歩かなければなりませんでした。三峰神社から南入口公園、中丸で『ほしのや城』の古川先生の考え方や考察の根拠を話があり、坂の上から遠くの景色を望みながら、昔々の座間に思いを馳せ、坂を下り座間駅東口にて解散しました。

13時に集合し15分後に出発、15時過ぎに解散と（中丸での説明後に帰られた方も多く、座間駅で後ろを振り向いた先生が“人が減っている”ことに気づき、目を丸くしていましたが）予定通りに全行程を無事、終えることが出来ました。

（谷戸山公園 里山体験館にて）

### 【感想】

いつもの道、坂や山なのですが、歴史と重ね合わせた説明を聞くことで、そこにあった生活や人々の思い、構想に触れてみたいという気持ちが湧いてくるお話でした。

こどもの頃からの夢なのですが、タイムマシンが開発されたら、京の都や江戸の町など、日本中の「本物の景色」を見に行く予定です。座間も絶対見よう！！と思いました。

